

【目次】

1.

- 【目次】

1.

- RAG過信への警鐘と本稿の目的
- 1-1.
- 本動画の位置づけ
- 1-2.

1. RAG過信への警鐘と本稿の目的

-
- 1-1.
- 本動画の位置づけ

登壇者は「自社データ=RAG」という

- 早合点に疑問を投げかけます。
- 相談現場ではRAG不要の案件が多く、

2. 問1：網羅的な参照は必要か

-
- 2-1.
- チェックリスト型はRAG不適

校閲・監査などのチェックリス...

- 全観点を同時に適用する必要があります。
- RAGは必要部分だけを引く設計のため、

3. 問2：元データはLLMの入力上限内か

-
- 3-1.
- 収まるなら“全部入れる”が速い

近年のLLMは長文入力に対...

- ガイドラインが上限内に収まるなら、
- 毎回プロンプトへ全投入する方が精度は安定。

4. 問3：動的に変えるパターン数は何個か

-
- 4-1.
- 少数パターンはテンプレ運用

RAGは「都度差し替え」が強み...

- しかしパターンが10～20個程度なら、
- 業界別・用途別テンプレートを作成し、

5. 実務への落とし込み

- - 5-1.
 - 判断フロー（文章版）
- 1.
- 網羅チェックが必要か。
 - YESならRAG不要。

◆本日のポイント

-
- ◆本日のポイント
-
- RAGは“必要部分だけ引く”道具です。
- 網羅チェックや少数パターン管理には不向きです。
- ○
- 上限内データは毎回全投入が早くて強いです。